# 学びのコラム

## 女性ニュース

23.12 月号

**衝撃の始まり）**

今年の３月 30 日に大手精密機械メーカー、キヤノンの株主総会が行われ、株主による取締役の選任がなされました。その時 27 年以上にわたって経営トップを務める御手洗冨士夫・会長兼社長 CEO（87）が賛成 0.59%、過半数ぎりぎりでかろうじて再任されるという異例の事態となり、企業間で衝撃が走りました。

## 「ジェンダーの視点から見る日本社会の現状と日本 AG」

## Ⅰ）投資家へのアドバイス

株主の判断に影響を与えたのはアメリカの議決権行使助言会社ISS でした。この会社は、株主総会の議案への賛否を投資家にアドバイスしており、今年２月に取締役会に女性が１人もいない企業に対しては、経営トップの取締役選任に反対を推奨するとしました。

キャノンは取締役５名全員は男性だったのです。この会社に並んで影響力をもつアメリカの助言会社グラス・ルイスも「プライム市場の上場企業には 10%以上の女性

「ジェンダーの視点から見る日本社会の現状と日本 AG」

「ジェンダーの視点から見る日本社会の現状と日本 AG」

役員を求める」という方針を掲げています。そして、この基準を満たさない場合、取締役会議長または指名委員会の委員長に反対を推奨するというのです。

## II）ジェンダーバランスを重視

国内の機関投資家の間ではここ数年、女性取締役ゼロに厳しい目が向けられ、ジェンダーバランスを重視する動きが広がっています。何故でしょう？　「性別や国籍などが異なるメンバーが、それ

ぞれ違った視点から活発に議論することで、リスクを回避して、環境の変化やガバナンス[i]上の問題にも対処できる。ビジネス環境の変化が激しい今の時代、多様性のある企業のほうがイノベーション[ii]を生み出す可能性が高い」[iii]とされるからです。

## 「ジェンダーの視点から見る日本社会の現状と日本 AG」

## Ⅲ）日本の実情と課題

　それでは、日本企業の現状はどうなのでしょうか?

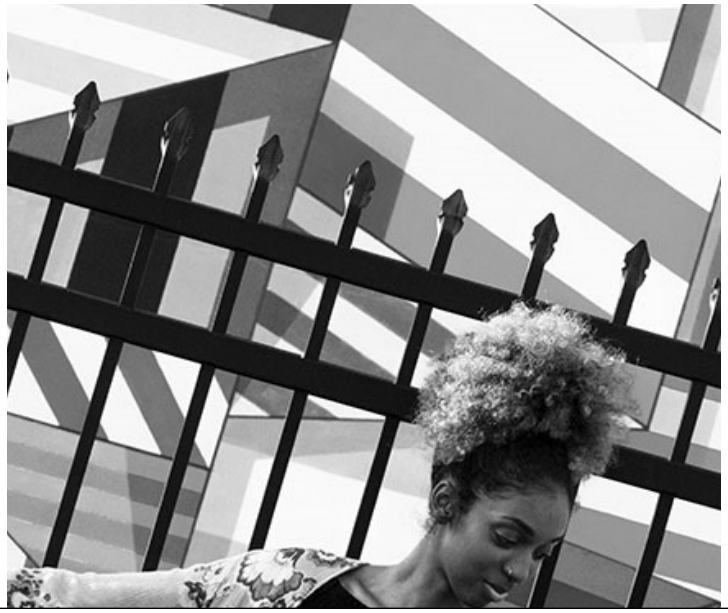
金融庁は、今年４月にアクションプランを公表し、2030 年までに上場企業の女性役員の比率を 30%以上に高める目標を掲げました。

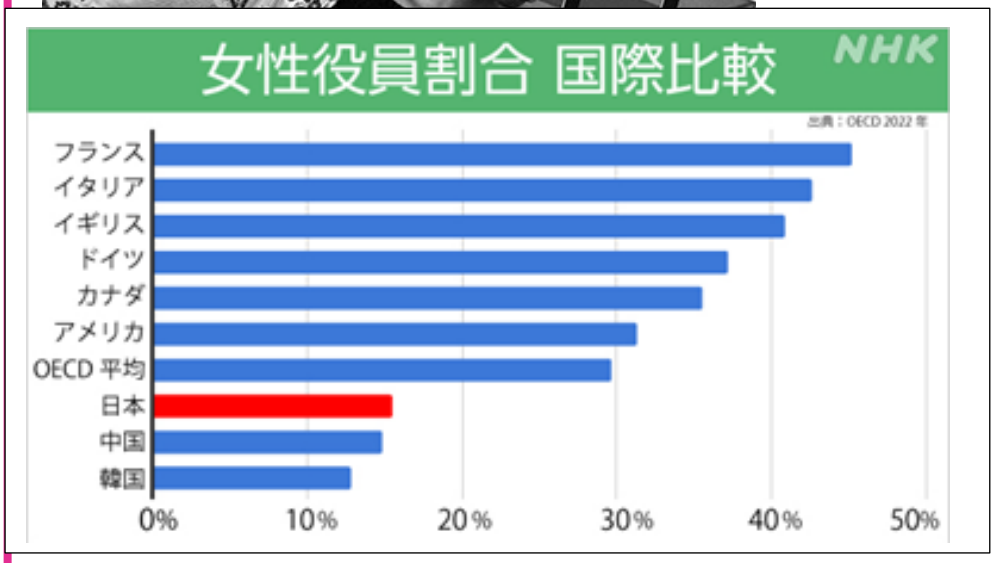
しかし現在の日本の主要企業では女性役員の比率が15.5%にとどまっています。

そして何よりの問題点は人材がいないということなのです。「中長期的に女性リーダーをどう育て、どのように登用していくのか。

企業に対しては、多様な人材を生み出す力や戦略も問われるようになっている。」

…考えさせられるニュースでした。[iv]





## Ⅳ）教団総会に出席して

11 月に教団総会が行われました。教団はある面、日本社会の縮図のようです。現在の総会議員は 51 人。そのうち女性は前回の選挙で女性枠 3 名が設けられ、計 8 名になりました。この人数は AG の歴史の中で最も多い数になっています。それでも全体の 15.7%。主要企業での女性役員の比率とほぼ同じです。今回の総会で女性枠 5 名の議案が可決されました。

増員に賛成してくださった男性議員の方々が居られたことは、男性優位とされるキリスト教界で革新的なことだと感じています。

傍聴者にも女性教職が居られましたが、総会への出席者が多くなる程、他の女性教職にも教団の進んでいる方向や 働きに関心が広がっていくことでしょう。自分の教会だけでなく、この AG 教団の現状と未来を女性も一緒になって考えていくべきなのです。今回も教団の財産の 7 億円を用いる議案がありましたが、そのような話が出ていることを女性も知り、意思決定の場所に女性がいることはとても重要です。

## Ⅴ）問題の解決の為

勿論女性枠の人数が増えても、全国枠から女性議員が選出されなければ女性の割合は増えていきません。優秀な男性の先生方がおられる中で全国枠から選ばれる女性がどの位いるのか全く未知数です。また人数が増えても「リスクを回避して、環境

# 「ジェンダーの視点から見る日本社会の現状と日本 AG」

の変化やガバナンス上の問題にも対処できる」影響力のある人材とならなければなりません。「中長期的に女性リーダーをどう育ていくか」は教団にとっても課題です。

その為女性活躍推進室では理事長の掲げた教団方針を読む会や会議の行い方などの勉強会を行って来ました。また教団側も会議をオンライン化にしたり、部員や委員の女性登用を行っています。

実際にはまだまだこれから、という面はあるかもしれませんが、環境は整えられつつあり、女性側も成長しつつあります。今回の総会でも女性議員はよく発言していました。女性は自分から進んで責任を持つことを望まないかもしれませんが、与えられた働きはとても真面目に取り組みます。議員になられた先生方も自覚と責任を持たれていることを十分表していたのではないかと思いました。

# 「ジェンダーの視点から見る日本社会の現状と日本 AG」

総会議員に限ることではありませんが、これからの女性は今より広い視野で物事を見、適切な考えと判断が出来ることを目指し、成長して教団を支える者となれますようにと願って止みません。

女性活躍推進室員　野川悦子

---

[i] ガバナンスとは、組織が健全な運営を行うべく、自ら管理・統制すること。
(NTT データ グローバルソリューションズ)

[ii] イノベーションとは、「革新」や「刷新」、「新機軸」などを意味する言葉で、現在では革新的な技術や発想によって新たな価値を生み出し、社会に大きな変化をもたらす取り組みを示す。
(https://www.nec-solutioninnovators.co.jp/index.html)

[iii] 三井住友 DS アセットマネジメント 坂口淳一 責任投資オフィサー

[iv] NHK news web 2023 年 5 月 21 日　参照